

【使用済み瓦を利用した施工事例】

今回、秋田市では新庁舎の建設に合わせ、秋田県内で発生する瓦を地域資源として1階フロアや外溝などに利用する工事を行なった。

- 1 場 所：秋田市役所（秋田市山王一丁目1番1号）
- 2 施工箇所：庁舎内（1階フロア「市民の座（待合ロビー）、通路、市民ホール等」）
庁舎外（庁舎周り、市民の広場）

【市民の座（待合ロビー）】



【通路】



【市民ホール】



※色調が赤く温かな印象を受ける。

【拡大写真】



【特徴点など】

- 工法は平板ブロック敷き（H=30mm）
- チップ化した瓦を利用しているため、色調が赤い。
この色味が温かみを表出している。
- ざらつき感のある表面仕上げとなっているため、滑り止め対策につながっている。

【庁舎正面出入口】



【拡大写真】



【特徴点など】

- ・工法は瓦コンクリート（H=70mm）
- ・赤みを帯びた柔らかな色調となっている。
- ・表面はざらつき感があるため、滑り止め対策につながっている。
※特に降雪期の効果が高いと見られる。

【市民の広場（庁舎前）】



【拡大写真】



【特徴点など】

- 工法は平板ブロック敷き（H=80mm）
※デザイン性を考慮し、瓦入りブロックとコンクリートブロックを併用。
- 色味を抑えた工事となっている。
- 表面はざらつき感があるため、滑り止め対策につながっている。
※特に降雪期の効果が高いと見られる。